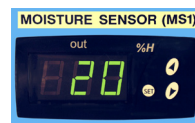




オイルピュア社バキューム・ジェット オイル脱水システムは、これまで一般的であった〔真空ポンプ・真空蒸留方式〕に取って代わる新方式のオイル脱水システムです。油中に含まれる自由水・溶存水を100ppm以下にまで効率的且つ、低コストで脱水できる優れたシステムです。



### V J 動作原理

バキューム・ジェットはオイルに溶け込んだ溶存水を離脱させ、大気に水分を吸収させる方式を採用。水分を含んだオイルはタンク内の浸漬ヒーターにより比較的低温度(60℃)に加熱され、独自に開発されたジェット・イジェクターにより大気とオイルがタンク内で混ぜられます。大気とオイルが混合されることで、サイクロン分離タンク内で液状からエアゾール噴霧粒子化されます。その際、サイクロン遠心力により水分はエアと共に装置上部より排出され、ドライオイルはタンク下部に溜まっていきます。

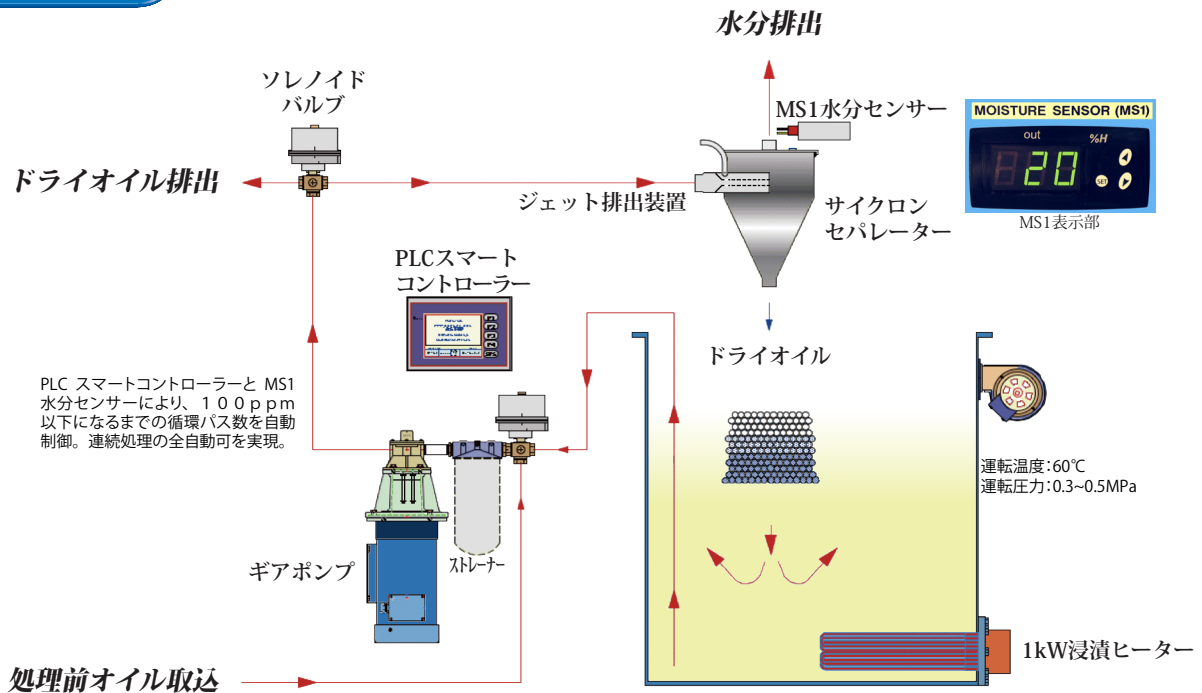
最小モデルであるVJ-50は、バッチ処理を行うためのタンク(15L)を内蔵しており、デジタルコントローラーによってプログラムされたプロセスに従い、外部タンクからの〔処理前オイルの取込〕→〔脱水処理〕→〔処理済オイルの排出〕→〔処理済オイルの取込〕

といった一連の作業を全て自動で行います。システムには独自に開発されたMS1水分センサーが組み込まれており、設定された水分目標値を検知し、脱水処理が終了します。脱水されたドライオイルは、連続バッチ処理にて自動排出されます。



オイルピュア社・バキューム・ジェット オイル脱水システムは、無人で連続バッチ脱水処理が可能な装置で、システムの基本構造は従来型の〔真空蒸留装置〕と大きく異なり、高ランニングコストで煩雑なメンテナンスを要する真空ポンプを使用しておらず、長期間安定した稼働が約束されます。

処理フロー図



VJ-50特長

- 含水率1%(10000ppm)のオイルでも、溶存水レベル50ppmまで脱水
- 1時間当たり500mLの脱水能力
- 加熱処理温度が低く(60℃)、オイルの品質劣化を防止
- 高粘度オイル(~1100cSt/5000SUS)の脱水処理が可能
- 自動制御機能とMS1水分センサーによる連続バッチ処理が可能
- 高価な真空ポンプが不要で、メンテナンスフリー・低ランニングコスト
- 装置重量: 約82kg
- 外形寸法: 585mm(W) x 776mm(L) x 1030mm(H)

適応オイル

油圧作動油・リン酸エステル系作動油・PAO(ポリアルファオレフィン)・鍛造油・ギヤ油・タービン油・真空ポンプ油・絶縁油・コンプレッサー油・焼入油・研磨油・トランスミッション油・ホーニング油・錆止油等

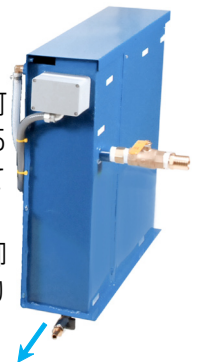
\*処理対象タンク容量とその処理時間は、含水量により異なります。

ラインナップ: 小型(VJ-50)・中型(VJ-150/VJ-300)・大型モデル(VJ-450)

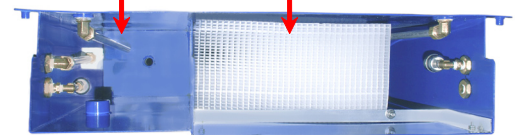
オプション

油水分離タンク(自由水)  
モデル:DT-10

- 1時間4Lの自由水を分離可
- 油中に水分が多い場合(5~80%)に、前処理としてオプション設定推奨
- WS1水分センサーによる制御で、下部ソレノイドバルブより自動排出



二次調整 静置タンク 総面積6.7m<sup>2</sup>の専用分離メディア



輸入発売元: 株式会社テクノサポート  
〒562-0031  
大阪府箕面市小野原東 4-22-3  
Tel: 072-730-2303 Fax: 072-730-2304  
http://www.technosupport.co.jp

販売窓口: 株式会社チヒロ  
〒540-0004  
大阪市中央区玉造 2-15-16 1F  
Tel: 06-4308-4000 Fax: 06-4308-4001  
http://www.chi-hiro.co.jp

<お問合せ先>

